

シンポジウム「超低速ミュオン顕微鏡:その限りない可能性を探る」

日本物理学会2011年秋季大会・領域10領域8シンポジウム

日時:平成23年9月23日(金) 13:30~16:50

場所:富山大学五福キャンパス GE会場

講演者	題目	所属
鳥養映子	趣旨説明	山梨大学大学院医学工学総合研究部
三宅康博	J-PARCで実現される超低速ミュオン顕微鏡計画	高エネルギー加速器研究機構物質構造科学研究所(量子ビーム)
髭本亘	先鋭ミュオンビームの顕微機能:微小試料と微小領域	日本原子力研究開発機構先端基礎研究センター(実験)
中西寛	ミュオンが見る固体表面・サブ表面	大阪大学大学院工学研究科
杉山純	超低速ミュオン顕微鏡の産業応用:電池材料等	豊田中央研究所先端研究センター
休憩	休憩	
前川禎通	スピン流とその直接観測の可能性について	日本原子力研究開発機構(理論)
橋詰富博	超低速ミュオン顕微鏡で見る酸化物ヘテロ界面	東京工業大学大学院理工学研究科
小嶋健児	表面-バルク境界領域のヘテロ電子相関	高エネルギー加速器研究機構物質構造科学研究所(物性)
岩崎雅彦	物質創成の原理を極める超冷却と尖鋭化	理化学研究所仁科加速器研究センター